

決算

(株)サンゲツの平成30年3月期(連結)の業績は、

売上高1,563億9,000万円(前年同期比15.3%増)、営業利益50億3,300万円(同33.5%減)、
経常利益56億9,800万円(同31.9%減)、純利益45億1,400万円(同31.3%減)だった。

セグメント別の業績は、

インテリア事業が売上高1,208億5,200万円(同3.6%増)、営業利益57億5,200万円(同19.8%減)で、
そのうち壁装事業の売上高が575億8,800万円(同2.1%増)、床材事業が428億7,700万円(同3.6%増)、
ファブリック事業が79億700万円(同2.7%増)、施工代などその他が124億7,800万円(同11.6%増)だった。
またエクステリア事業が売上高150億1,300万円(同1.6%増)、営業利益4億3,900万円(同9.3%増)、
照明器具事業が売上高36億6,300万円(同13.6%減)、営業損失1億3,700万円(前年同期は営業利益2,300万円)、
海外事業が売上高171億5,100万円、営業損失はのれん償却前が2億500万円、償却後は8億7,000万円となった。

なお次期については、売上高1,640億円、営業利益60億円、経常利益66億円、純利益46億円を見込んでいる。

TOSOインテリアビジネスニュース(第705号)より引用